



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月10日

東

上場会社名 株式会社京進 上場取引所
コード番号 4735 URL <https://www.kyoshin.co.jp/group/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 立木康之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼経営企画部長 (氏名) 松原博之 (TEL) 075-365-1500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年6月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	6,694	1.0	208	△13.6	193	△12.5	17	△86.7
2025年5月期第1四半期	6,626	1.2	241	△11.7	220	△22.9	129	7.4

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 2百万円(△96.7%) 2025年5月期第1四半期 87百万円(△15.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	2.23	—
2025年5月期第1四半期	16.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	21,705	3,874	17.9
2025年5月期	22,028	3,899	17.7

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 3,874百万円 2025年5月期 3,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	3.63	3.63
2026年2月期	—	—	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	2.78	2.78

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は事業年度の末日を5月31日から2月末日に変更しております。

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年6月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	20,058	—	394	—	308	—	71	9.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※決算期変更の経過期間となる2026年2月期は、2025年6月から2026年2月の9ヶ月間の予想数値となるため、対前年増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期1Q	8,396,000株	2025年5月期	8,396,000株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	710,258株	2025年5月期	710,258株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期1Q	7,685,742株	2025年5月期1Q	7,785,742株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、インバウンド需要の回復や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調を維持しました。一方で、物価高による個人消費の低迷や長期化する国際情勢の不安定さから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業領域においても、急速に進む少子高齢化や労働人口の減少といった経営環境に直面する中、社会環境の変化に応じたサービスの変革が求められています。

当第1四半期連結累計期間の売上高は6,694百万円(前年同期比1.0%増)となり、前年同期に比べ67百万円増加しました。営業利益は208百万円(同13.6%減)となり、前年同期に比べ32百万円減少しました。経常利益は193百万円(同12.5%減)となり、前年同期に比べ27百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は17百万円(同86.7%減)となり、前年同期に比べ111百万円減少しました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

<学習塾事業>

学習塾事業においては、市場の人口動態に合わせて出店戦略を見直し、関東エリアへの新規出店、新しいサービス業態の展開、校舎の大規模化といった取り組みを進めております。当第1四半期連結累計期間では、前年に比べ退会数は減少したものの、新学期開始時期における新規の入会数が前年に及ばず、期中平均生徒数は前年同期比96.6%となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメントの経営成績は、売上高2,719百万円(前年同期比1.4%減)、セグメント利益534百万円(同12.5%減)となりました。

<語学関連事業>

国内の英会話事業においては、新規の入会数が前年に及ばず、また、海外の英会話事業においても、オーストラリア政府の学生ビザ厳格化の影響を受け、英会話事業全体の当第1四半期連結累計期間における期中平均生徒数は前年同期比93.8%となりました。一方で、日本語教育事業においては、新規の学生の募集が好調に進み、当第1四半期連結累計期間における期中平均生徒数は前年同期比114.0%となり、売上・利益ともに前年同期を上回りました。また、国際人材交流事業においては、インドやネパールの協力機関との連携し、外国人材の紹介事業を大きく進展させました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメントの経営成績は、売上高1,026百万円(前年同期比0.6%増)となり、セグメント利益37百万円(同181.6%増)となりました。

<保育・介護事業>

保育事業においては、政府の人事院勧告に伴う公定価格の上昇により自治体からの運営委託費収入が増加し、売上・利益ともに前年を上回りました。介護事業においては、サービス利用率の向上に努め、高齢者施設の入居率は高い状態を維持しており、当第1四半期連結累計期間における期中平均顧客数は前年同期比101.9%と増加しました。フードサービス事業では、新規顧客獲得に向けた販路拡大の営業活動とメニュー構成の見直し等に取り組みました。しかしながら、コメ価格高騰による原価高の影響により利益率が低下しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメントの経営成績は、売上高2,948百万円(前年同期比3.5%増)、セグメント利益53百万円(同12.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は21,705百万円となり、前連結会計年度末に比べ322百万円減少しました。流動資産は7,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ200百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少741百万円、売掛金の増加397百万円、商品の増加42百万円、その他の流動資産の増加94百万円等です。固定資産は14,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ122百万円減少しました。有形固定資産は10,484百万円(前連結会計年度末に比べ138百万円減少)となりました。主な要因は、建物及び構築物の減少28百万円、リース資産の減少33百万円、建設仮勘定の減少82百万円等です。無形固定資産は816百万円(同41百万円減少)となりました。主な要因は、のれんの減少32百万円等です。投資その他の資産は3,368百万円(同57百万円増加)となりました。主な要因は、投資有価証券の増加10百万円、繰延税金資産の減少47百万円、敷金及び保証金の増加100百万円等です。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は17,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ297百万円減少しました。流動負債は9,460百万円となり、前連結会計年度末に比べ217百万円減少しました。主な要因は、未払金の増加101百万円、未払法人税等の減少251百万円、買掛金の増加70百万円、賞与引当金の増加238百万円、その他の流動負債の減少347百万円等です。固定負債は8,370百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少113百万円、繰延税金負債の増加47百万円等です。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は3,874百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少10百万円、為替換算調整勘定の減少16百万円等です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末17.7%から0.2ポイント上昇し、17.9%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は事業年度の末日を5月31日から2月末日に変更しております。2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年7月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,569,811	4,828,409
売掛金	812,504	1,209,751
商品	78,462	121,006
貯蔵品	11,805	11,609
その他	795,859	890,797
貸倒引当金	△32,508	△25,749
流動資産合計	7,235,936	7,035,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,549,730	5,521,015
土地	2,715,299	2,715,299
リース資産（純額）	2,132,057	2,098,081
建設仮勘定	82,209	—
その他（純額）	143,880	149,899
有形固定資産合計	10,623,177	10,484,296
無形固定資産		
のれん	371,597	339,081
その他	486,022	477,340
無形固定資産合計	857,619	816,421
投資その他の資産		
投資有価証券	206,738	216,796
繰延税金資産	1,311,763	1,264,074
敷金及び保証金	1,616,307	1,716,948
その他	197,331	191,696
貸倒引当金	△20,599	△20,585
投資その他の資産合計	3,311,542	3,368,930
固定資産合計	14,792,340	14,669,648
資産合計	22,028,276	21,705,473

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,134	211,373
短期借入金	3,300,000	3,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,415,958	1,365,931
リース債務	119,507	121,489
未払金	1,331,452	1,432,483
未払法人税等	310,574	58,745
前受金	1,561,993	1,589,800
賞与引当金	235,474	474,029
資産除去債務	22,416	14,397
その他	1,239,550	892,532
流動負債合計	9,678,062	9,460,783
固定負債		
長期借入金	2,634,542	2,520,885
リース債務	2,395,810	2,368,033
退職給付に係る負債	1,849,004	1,854,550
役員退職慰労引当金	67,735	69,950
資産除去債務	914,090	911,944
繰延税金負債	448,081	495,180
その他	141,396	149,564
固定負債合計	8,450,660	8,370,109
負債合計	18,128,723	17,830,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954
利益剰余金	3,765,691	3,754,945
自己株式	△726,920	△726,920
株主資本合計	3,630,618	3,619,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,180	113,290
為替換算調整勘定	△12,942	△29,314
退職給付に係る調整累計額	176,697	170,733
その他の包括利益累計額合計	268,934	254,708
純資産合計	3,899,553	3,874,580
負債純資産合計	22,028,276	21,705,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
売上高	6,626,657	6,694,310
売上原価	5,135,123	5,249,601
売上総利益	1,491,533	1,444,708
販売費及び一般管理費	1,249,938	1,236,031
営業利益	241,594	208,676
営業外収益		
受取利息	1,707	5,680
受取配当金	1,569	1,869
為替差益	3,204	17,359
貸倒引当金戻入額	483	480
持分法による投資利益	1,247	2,119
雑収入	17,930	15,019
営業外収益合計	26,141	42,528
営業外費用		
支払利息	41,570	56,172
雑損失	5,357	1,906
営業外費用合計	46,927	58,078
経常利益	220,808	193,127
特別利益		
固定資産売却益	—	9
投資有価証券売却益	—	4,590
特別利益合計	—	4,599
特別損失		
減損損失	3,429	34,405
固定資産除却損	128	0
特別損失合計	3,557	34,405
税金等調整前四半期純利益	217,251	163,321
法人税、住民税及び事業税	32,485	48,594
法人税等調整額	55,643	97,573
法人税等合計	88,129	146,168
四半期純利益	129,121	17,153
親会社株主に帰属する四半期純利益	129,121	17,153

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
四半期純利益	129,121	17,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,062	8,109
為替換算調整勘定	△21,050	△16,527
退職給付に係る調整額	△4,197	△5,964
持分法適用会社に対する持分相当額	△317	155
その他の包括利益合計	△41,628	△14,226
四半期包括利益	87,493	2,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,493	2,926

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	学習塾事業	語学関連 事業	保育・介護 事業			
売上高						
一時点で移転される財又は サービス	125,617	25,699	250,062	401,379	—	401,379
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	2,631,130	993,916	2,600,230	6,225,277	—	6,225,277
顧客との契約から生じる 収益	2,756,748	1,019,616	2,850,292	6,626,657	—	6,626,657
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,756,748	1,019,616	2,850,292	6,626,657	—	6,626,657
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	202	10,729	10,932	△10,932	—
計	2,756,748	1,019,819	2,861,021	6,637,589	△10,932	6,626,657
セグメント利益	610,650	13,291	61,959	685,901	△444,306	241,594

(注) 1. セグメント利益の調整額△444,306千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△459,793千円及びその他の調整額15,486千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連 事業	保育・介護 事業			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	136,823	20,248	273,014	430,086	—	430,086
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	2,582,418	1,005,881	2,675,923	6,264,223	—	6,264,223
顧客との契約から生じる収益	2,719,242	1,026,129	2,948,937	6,694,310	—	6,694,310
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,719,242	1,026,129	2,948,937	6,694,310	—	6,694,310
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	700	11,286	11,986	△11,986	—
計	2,719,242	1,026,829	2,960,224	6,706,296	△11,986	6,694,310
セグメント利益	534,599	37,427	53,966	625,993	△417,316	208,676

(注) 1. セグメント利益の調整額△417,316千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△431,634千円及びその他の調整額14,317千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当該減損損失の計上額は、「学習塾事業」セグメントで17,086千円、「語学関連事業」セグメントで350千円、「保育・介護事業」セグメントで16,968千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	220,755千円	221,983千円
のれんの償却額	32,884	32,516